

体育館が、卒業式用の会場に整えられた。いよいよだなと気が引き締まる。会場準備には、多くの子どもたちが関わる▼式場準備には、フロアの掃除から始まって、対面式の式場用に椅子やひな壇、演壇などを所定の場所に設置する。手順は決まっている▼おもに、4年生と5年生が仕事の大部分を請け負うが、ちょっとおもしろいのは、すべての手順の中で、まず5時間目に4年生ができるところまでです。6時間目にはそれを引き継いで、5年生が最後を引き受ける▼昨日は、掃除の時間に掃除担当の子たちが、フロアの掃除からはじめてくれたおかげもあって、式場準備のリレーは、予定時刻内に完了することができた▼整えられた式場で、今日は6年生との第1回卒業式の練習。卒業証書のもらい方を練習した。練習の中では儀式的な所作を説明しながら卒業式とは6年生にとってどんな意味があるのか。卒業証書とは何か、いわゆる講話を交える▼儀式の練習をするのかと不思議がる人もいる。単なる練習ではない。「卒業」を題材にした授業なのだ。特に6年生は、練習の中で、大きく成長しながら、「卒業」に向かって、心を整えていく。我々教職員はそんな卒業式を「6年生最後の授業」と位置付ける▼練習の最後には、歌を聞かせてもらった。「勇気を翼にこめて 希望の風に乗れ この広い大空に 夢を託して」いよいよ中学校にとびたつ。